

欧州
心臓病学会

William Harvey Lecture Award 東北大学・下川教授に

欧州心臓病学会(European Society of Cardiology; ESC)はこのほど、2014年のWilliam Harvey Lecture Awardを東北大学大学院循環器内科学分野教授の下川宏明氏に授与することを決定した。

ESCは会員数およそ8万人、欧州や北アフリカを含む地中海沿岸など56の国々が参加する学会で、日本循環器学会をはじめ38地域の心臓病系学会とも提携しており、その規模は世界トップクラスを誇る。

ESCでは毎年、基礎研究(William Harvey Lecture Award)・臨床研究(Rene Laennec Award)・疫学研究(Geoffrey Rose Award)・インターベンション研究(Andreas Grüntzig Award)の4分野で卓越した研究者を表彰している。

下川氏が受賞したWilliam Harvey Lecture Awardは、英国の解剖学者・医師で血液循環を発見し、発生学でも大きな足跡を残したといわれ

るWilliam Harvey(1578-1657)の名を冠したもの。基礎研究以外の3分野は、それぞれ臨床研究がイタリアのG. Thiene氏、疫学研究が米国のV. L. Roger氏、インターベンション研究がドイツのA. Kastrati氏に贈られる。

8月30日～9月3日の5日間、スペイン・バルセロナでESC Congress 2014が開催されるが、受賞の4氏の記念講演は会期2日目の8月31日に予定されている。

下川氏は小紙の取材に対し、「今年の欧州心臓病学会学術集会においてWilliam Harvey Lectureの機会をいただくことになり、大変光栄に思います。高校生のころ、岩波新書の『血液循環の発見－ウィリアム・ハーヴィの生涯』をわくわくしながら読んだことを思い出しました。これからも、自分なりの研究を続けていきたいと思っています」とコメントを寄せた。